様式2 輸出事業計画

※申請者名:オヤマ輸出コンソーシアム、品目:鶏肉

1. 輸出における現状と課題

■現 状

- ・株式会社オヤマの提携する鶏生産農家では、とうもろこしなど植物性たんぱくを中心に、ナラなどの広葉樹の樹液と、海藻、天然ハーブをプラスした飼料を使用し「健康な鶏」を飼育している。
- ・平成22年11月に香港向けの認定処理施設となり、平成30年度より香港への輸出を開始。
- ・「正肉(もも・むね・ささみ)」の輸出量は、令和3年度には14.3 t であったが、コロナ禍での巣ごもり需要の高まりにより、令和4年度は6ヶ月間で37.5 t と、飛躍的に増加した。
- ・香港への輸出に加え、ベトナム・シンガポールへの輸出を検討しており、ベトナム向け・シンガポール向け認定処理施設の衛生基準を満たす、施設の整備を進めている。

■課 題

【生産体制】

- « 各国共涌 »
 - ・東日本大震災での経験をふまえ、災害時における他地域との協力体制の確立
- ・生産農家(直営農場・系列農場・委託農家・契約農家)との情報交換及び飼育に関わる知識 や技能の向上
 - ・高齢化により生産者が離農し、ブロイラー飼養羽数が減少

【 加工·処理施設 】

- « 各国共涌 »
 - ・処理・加工能力を向上させる、新工場の建設と機械設備の導入を目指して、資金の調達が必要
 - ・業務用及び消費者ニーズに合わせた商品パッキング等の調査が必要
- 《 香港 》
 - ・本社工場の1日当たりの処理・加工能力不足により、現状から輸出量を増加することができない
- « ベトナム、シンガポール »
- ・「ベトナム向け輸出食鳥肉登録施設(登録番号 I W7)」を取得しているが、新施設整備後に、改めて「ベトナム向け輸出食鳥肉取扱施設」の認証が必要
 - ・東北エリアには、シンガポール向け輸出食鳥肉登録施設がない

【 物流・販売 】

- 《 各国共诵 》
 - ・輸出量増加のため、販路拡大が必要
 - ・利益率向上のため、輸出におけるコスト削減が必要
- « ベトナム、シンガポール »
 - ・ベトナム向け・シンガポール向けに輸出した実績がないため、販路の開拓と物流ルートの確立が必要

2. 輸出事業計画の取組内容

■取 組

【 生産体制 】

- « 各国共涌 »
 - ・災害時における協力体制を確立するため、被災時支援農場として県外の農場との業務提携
 - ・毎年、生産農家(直営農場・系列農場・委託農家・契約農家)との情報交換と、飼育等に 関わる研修会を実施
 - ・生産計画に基づき飼養羽数の増羽に取り組む生産者(直営農場・系列農場・委託農家・ 契約農家)が鶏舎の増設を必要とする場合には、鶏舎増設に必要な資金調達について補助 金等を含めて支援を実施

【 加工・処理施設 】

- 《 各国共诵 》
- ・新工場の建設と機械設備導入のために「食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業」の交付金活用を希望し、現在要望調査に応募中。日本政策金融公庫からの融資を活用予定
 - ・業務用 2 kg 詰めパッキングの他に、消費者ニーズに合わせたコンシューマーパックを実施
- 《香港》
- ・処理・加工能力向上に必要な機械設備を有し、香港向け衛生基準を満たす新工場を整備する(令和7年3月完成目標)
- « ベトナム、シンガポール »
- ・新施設整備後(令和7年3月完成目標)、「ベトナム向け輸出食鳥肉取扱施設」の認証を取得
- ・処理・加工能力向上に必要な機械設備を有し、シンガポール向け衛生基準を満たす新工場を整備する(令和7年3月完成目標)

【 物流・販売 】

- 《 各国共诵 》
 - ・現地の見本市、展示会等でのプロモーション活動により取引先を拡大
 - ・現地の卸業者やスーパーマーケット、日本食レストラン等のニーズ把握に必要な調査を実施し、 ニーズに対応した商品開発及び販売戦略方法を確立して輸出におけるコスト削減を図る
- « ベトナム、シンガポール »
 - ・新たな輸出先確保等の情報収集のために、JETRO岩手の相談窓口を活用

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PDCA実施体制



計画

実行



- ・海外輸出での販売先の拡大
- ・新たな海外販売促進のツールの検討
- ・輸出のために生産農家の生産羽数の増加
- ・新工場の建設と機械設備の導入
- ・香港への輸出販売の拡大
- ・新たな輸出先(ベトナム・シンガポール) での販売開始
- ・新工場の建設と各国の輸出基準「食品安全 システム認証登録」のために機械設備導入
- ・委託農家拡大による羽数増加と鶏舎増設と 研修会の導入



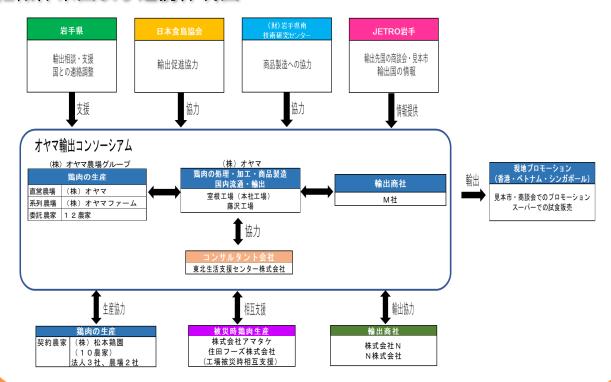
改善

チェック



- 海外輸出事業計画の見直し検討
- ・(財) 岩手県県南技術研究センターの協力による商品改善
- ・日本食鳥協会の協力による品質向上
- ・生産農家との生産羽数の見直しと増舎 の検討
- ・新築工場の処理、加エラインの見直し
- ・輸出国ごとの目標計画を2ヶ月ごとに確認
- ・海外市場の調査(展示会と現地取引先での 調査等)
- · JETRO岩手を活用した情報収集
- ・生産農家との研修会等で生産状況の確認
- 新築工場の処理、加工の効率化確認

組織体系図及び連携体制図



4. 輸出目標額

オヤマ輸出コンソーシアム	現状 令和3年度					目標年 令和16年度				
輸出品目	正肉	副産物	もみじ	加工品	計	正肉	副産物	もみじ	加工品	計
輸出金額(千円)	6, 691	2, 025	195	39, 242	48, 153	406, 338	213, 662	25, 900	160, 000	805, 900
輸出量(t)	14. 3	5. 5	1. 3	45. 7	66.8	703. 3	424. 0	172. 7	160. 0	1, 460. 0
輸出先国	香港					香港・ベトナム・シンガポール				